



01 04 01  
02 05 02  
04 06 03

- 01 解体スタート。機械を使わず手漕ぎで行う。高気密の下部には伝統的な竹小舞がみられた。  
02 既存ダイドコの天吊。仮にいぶされて真一息！かまどがあったと想像する。  
03 2階床組のようす。床柱はそのまま使用。補強と不燃調整を行う。  
04 この町家の大黒柱。脚部は黒石ごとそのまま残し、まわりを不燃壁で補強する。  
05 2階の小屋根。既存の形を維持しながら、空室のつながりを組みなおしていく。  
06 油え漆で補修補強を行う。塗機が入らないため人力で持ち上げる。  
07 和室造作材の上部をカットし100mm上げる調整を行う。大ニさんの神業！  
08 基礎工事着手。基礎を行わずに基礎を高工するため、安工で支保を支える。  
09 基礎既設検査。スラブ+立上りをしっかり既設することで、建物の剛性を高める。